

# ★お楽しみ企画★

昭和は遠くなりにはけり  
ああ懐かしの紙芝居

## 「たなかのおっちゃんの紙芝居」



紙芝居屋

田中臣昭氏(51歳)

### 【プロフィール】

昭和44年、北九州市戸畑区の生まれ。

平成18年より、大阪市西成区の塩崎おとぎ紙芝居博物館の近藤博昭氏に師事。

現在は本業の傍ら市民センターや小学校、各地域のイベントにて、貴重な紙芝居の原画を用いた街頭紙芝居の口演を行っています。



### 次回

2022年1月30日(日)  
13:00~  
お楽しみ企画  
「新春!笑顔の落語会」/予定

## 第4回

がん哲学外来北九州 / メディカルカフェ



tobe todo

# 「あいむ・翔べ! 胡貳」

【後援】一般社団法人 がん哲学外来



2021年11月28日(日) 13:00~16:00

参加費:500円

八幡西区上上津役4-22-2(株)ニッサブ2F 夢宙空間

ご予約・お問合せ:090-8407-9785(山口)まで



がんになった。その後、あなたはどのように生きるのか。

「がん患者」と一口に言っても、その症状も治療方法も、治療過程での副作用も、心的状態も人によって全く異なる。それはすべての人に個性があるのと同じである。と樋野興夫先生は著している。

「がん哲学外来と出会った」ひとりひとりが、その人の症状だけではなく、家族のことなどもまず話してもらおう。

全く同じ経験をした人はいない。

情報を集めることも大事だが、目の前の自分と家族と向き合うことから、心の対話は始まる。

今や、がんと闘う時代から、がんから学ぶ・がんと共に生きる時代に入ってきた。「病気であっても、病人ではない」生き方を、がん哲学外来北九州/メディカルカフェ「あいむ・翔べ! 胡貳」の仲間と共に実践していきましょう。

がん哲学外来北九州(略称)  
顧問 川本京子先生  
健和会町上津役診療所 所長



### 活動報告

- ・2月4日世界がんデーに、エアステーションHIBIKIで「がんとコロナと免疫力」というテーマで話をしました。コロナは下火になったとは云え、免疫力アップの生活習慣を心がけましょう。
- ・10月31日(日)福岡の「ぬくみカフェ」に1年振りに樋野興夫先生来福ということで、乗取さんと一緒に参加。近況報告と情報交換をさせていただきました

コロナ感染対策は引き続き継続

\*検温 \*マスク着用

\*トイレ用には設置のペーパータオル使用

\*手指消毒は会場に用意

近隣に無料駐車場有 当日スタッフがご案内いたします

### がん文庫/新刊

— ニッサブ2階 夢宙空間 —

### まちなか図書館/新刊



堀江貴文  
京都大学・山中伸弥教授が開発した「iPS細胞」=再生医療に限らず、医療の世界は、21世紀に入ってから、日進月歩で進化し続けている・・・。

最新情報を手に入れて、防げる死を防ぐ——。

120歳まで生きてみませんか。

と、著者 堀江貴文氏は呼びかけています。



中村さんが好きだった言葉「一隅を照らす」。

世界の「辺境」で自分に出来る事を貫き、多くの人たちの命を救った、まさにその言葉通りの生き方だった。そして、いつもこう言っていたという。「ジャスト・ドゥ・イット(行動あるのみ)!」。

現地で刊行された絵本の日本語版を「さだまさし」他が訳しています。